

6. 外資ファストフード店の中国都市市場展開

(1) ケンタッキーとマクドナルドの店舗展開

ケンタッキーフライドチキン（肯德基）の中国事業展開は1987年の北京1号店から始まった。以後25年の展開は燎原の火のごとし。2000年400店、2005年1500店、2010年3000店、2012年4000店という猛烈な出店ペースである。ロケーションはチベットを除く800余都市。そのうちKFC24時間店2477店舗を地図上にプロットしたのが③の地図である。

マクドナルド（麦当劳）は、1990年に広東省深圳に初めて出店した。北京開店92年、広州93年、上海94年。2008年1000店、2014年2000店。④の地図はマクドナルド24時間店1139店舗を省別にプロットしたものである。24時間店がないのは新疆、チベット、青海、貴州のみ。

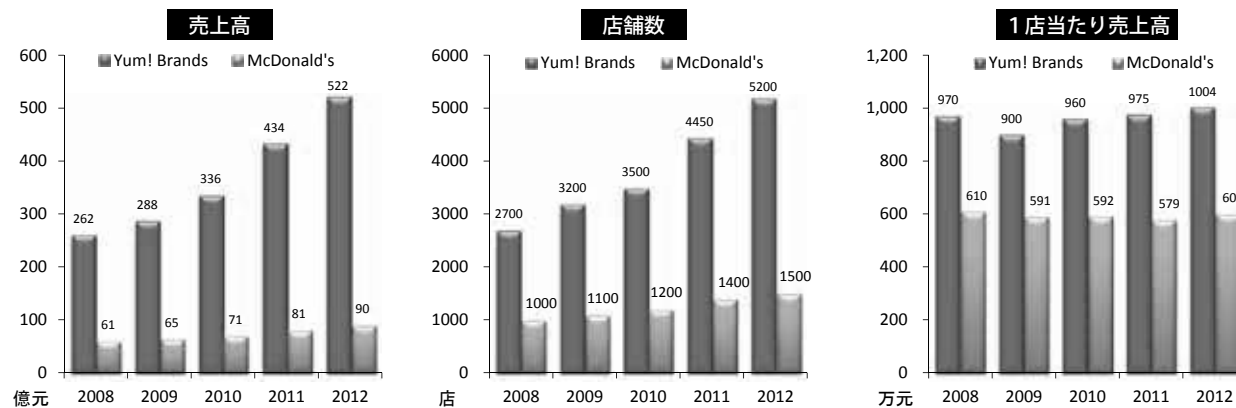
Yum! Brandsとマクドナルドの売上高、店舗数、1店当たり売上高は②のごとくである。Yum! Brands（百勝餐飲集團）はケンタッキーの親会社で、その傘下にピザハット、タコベル（タコス）、火鍋の小肥羊、中華ファストフードの東方既白がある。Yum! Brandsがマクドナルドを凌駕しているのは、この複数ブランド店舗展開の他に、現地化メニューの巧みさ、満腹感を満たすボリューム感などが決め手になっていると言われている。

① ケンタッキーとマクドナルドの店舗拡大の軌跡

年	ケンタッキー	年	マクドナルド
1987	北京前門で1号店を開業	1990	深圳で1号店を開業
1995	上海天山店（50店目）を開業	1992	北京王府井で1号店を開業
1996	北京安貞橋店（100店目）を開業	1994	上海で1号店を開業
2000	常州溧陽市でフランチャイズ店を開始	2005	24時間店を開業
2001	上海淮海路で500店目を開業	2005	東莞でドライブスルー店を開業
2002	北京でドライブスルー店を開業。深圳で700店目を開業。中国ケンタッキー曙光基金を成立	2006	中国麦当劳基金を成立
2004	北京で1000店目を開業	2008	東莞で1000店目を開業
2006	上海にテイクアウト業務を展開	2009	McCaféを開業、麦楽送のテイクアウト業務を展開
2005	上海ドライブスルー店（1500店目）を開業	2010	上海に人材育成のマクドナルド中国漢堡大学を成立
2007	中国進出20周年。成都で2000店目を開業	2010	中国進出20周年。上海で100店目を開業
2008	24時間店を開業	2011	この年、200店の新店開業、1年当たり開業数の最高記録を更新。中国が世界第3の市場になる。フランチャイズ経営の導入。
2010	上海で3000店目を開業	2013	武漢市の華中科技大学に中国大陸キャンパス・レストラン1号店を出店。広州で300店目を開業
2011	ネット販売業務を展開	2011	ネット販売業務を展開
2012	大連で4000店目を開業。12月末、チベットを除く中国800余都市に4200チェーン店を開業	2014	昆明動物園内に出店。中国2000店出店の目標を設定

（資料）百勝（中国）投資、中国麦当劳 ホームページ及び新華網より21世紀中国総研作成

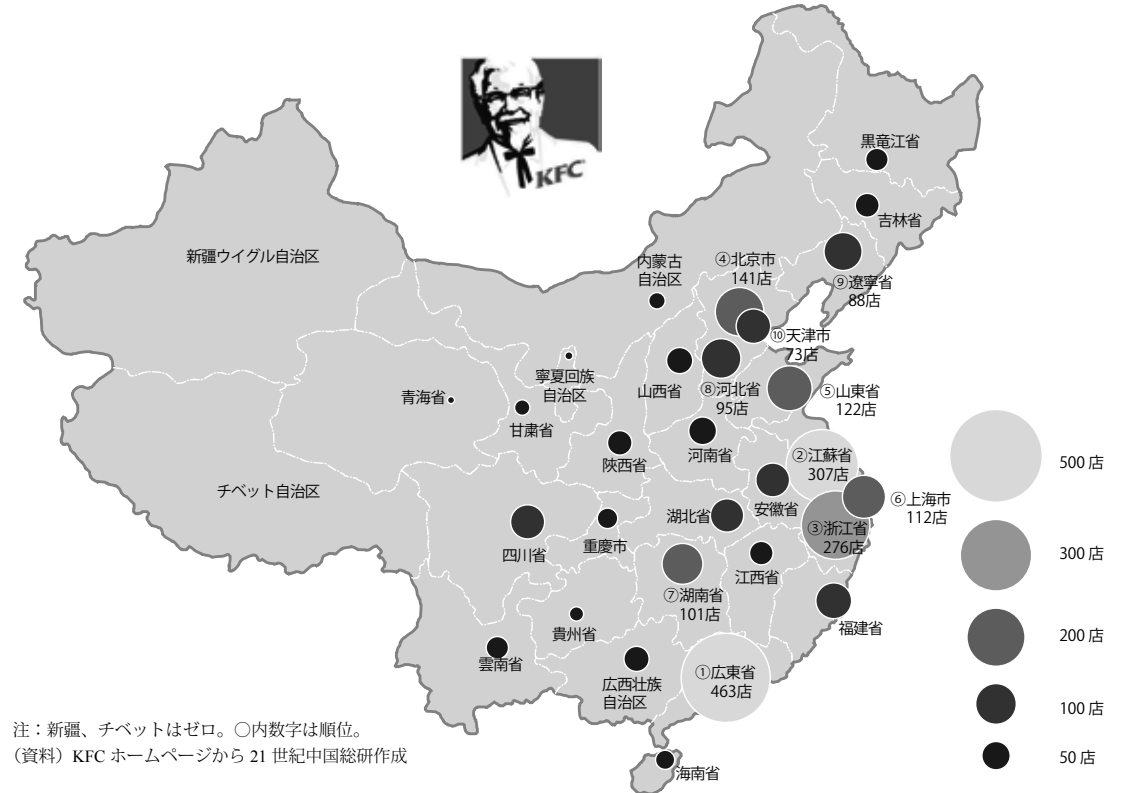
② Yum! Brands と MacDonal'd's の店舗数と売上高の推移



注：Yum! Brands（中国名：百勝餐飲集團）は中国でKFC（ケンタッキーフライドチキン、中国名：肯德基）ピザハット（中国名：必勝客）、必勝宅配送、東方既白、小肥羊餐厅を展開する。

（資料）中国連鎖店経営協会

③ KFC（ケンタッキーフライドチキン）の24時間店2477店舗の省別分布



④ McDonald's（マクドナルド）の24時間店1139店舗の省別分布

